

薬剤部長職場放浪記

第7回



部長：東北フロック労災病院薬剤部会で「ハートケアマーク」についても発表したけど、運用と薬剤部での取組みについてK主任教えて！

主任K：「ハートケアマーク」は、いわき市医師会による心不全予備軍を把握し、早期の適切な治療と心不全による再入院予防を目的として、2023年7月より「いわき心不全発見プロジェクト」の一部として開始されました。急性期病院である当院も参加し、薬剤部は心不全パンフレットを渡された患者さんのお薬手帳に「ハートケアマーク」を貼付してきました。最近、保険薬局とも、該当患者さんへ心不全パンフレット配付、「ハートケアマーク」の貼付を介して連携が深まり、心不全と診断された方へ積極的に「ハートケアマーク」を貼付する形も増えてきています。

部長：はじめはいわき医師会なのね！当院や薬剤部の運用はどんな感じなのかな？

主任K：2023年11月より病院として参加。薬剤部では循環器病棟担当薬剤師が、入院時患者さんの持参した薬を鑑別する際、「ハートケアマーク」を貼付する取決めとなっています。また、一部の心不全患者に対して週1回実施する多職種参加による心臓リハビリカンファレンスの内容をお薬手帳に記録し、心不全管理に関する情報提供しています。

部長：へえ～！「そろまめシール」といい、「ハートケアマーク」といい、
うちは地域連携に積極的な取組みをしてるね♪



主任K：当院では患者さんに対して入院時から退院後まで薬を通した切れ目のない関わりを心掛けているので、積極的な取組みに映るのかも [薬剤部ホームページ](#) [薬剤部関連情報](#) しませんね！

部長：怠惰や不和などの悪事を諫め、災いを祓いにやってくる来訪神である「なまはげ」。鬼の面に大きな出刃包丁あるいは鉾を持ち、ケラやミノ、ハバキをまとい、「泣ぐ子は居ねが～」「悪い子は居ねが～」と奇声を発しながら練り歩く。東北地方は寒冷地で食料保存のために塩蔵食品を多く使用する文化があり、特に福島県では、漬物や塩魚、味噌汁など塩分の多い食習慣が根付いている。

「ハートケアマーク」も食生活、生活の乱れを正し、心不全発現を抑える役目、ある意味、奇声を発しないので「沈黙のなまはげ」と言ったところだろうか。

つづく！



ハートケアマーク



秋田駅のなまはげ